



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754

伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶ 

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第529号

2021年11月29日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

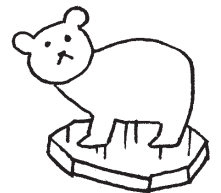
312-5

気候危機に早急な対策を

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、「気候変動は人間の活動が影響させていることは疑う余地がない」と断言。その報告を受け、イギリスで開催されたCOP26の決定文書に「世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて1.5度に抑える努力を追求する」と明記しました。

産業革命前は、年平均気温が13.7度でした。現在は1.2度ほど上昇していると。人間の体温も1度上がったら大変です。ましてや4度以上になったら命とりです。なんの対策も取らない場合、八千代市の気温は2100年には4.6~4.8度上昇する予想です。

ノーベル物理学賞の真鍋叔郎氏は、気候危機は人類の危機であると述べています。日本は今年も不名誉な「化石賞」を受賞しました。世界で5番目のCO2排出の国として真剣に対策に取り組まなければなりません。



八千代市のCO2削減22%目標を引き上げよ

八千代市は今年の2月に、「2050年までにゼロカーボンにする」と行動指針を宣言しました。3月には、八千代市は第3次環境保全計画をまとめました。

八千代のCO2削減目標は22%です。この目標は県の目標22%にならったものです。国の削減目標は26%でしたが、菅政権は世界から批判されて46%に引き上げました。しかし、石炭火力発電の増設はやめていません。

千葉県は石炭火力発電所や製鉄所が多く、日本で一番排出量が多い県ですから県民としても本気になって自治体を動かさないとCO2は止まりません。

12月議会では「目標の変更」と「具体的な対策」を求めます。八千代市の削減目標の根拠と新しい目標について①2050年までの道筋。②市庁舎の立替・改修の省エネ・再エネの対策について。③産業系や清掃センターの対策。④農業面での省エネ・再エネ対策について質問します。

再エネ・省エネへの転換で雇用増に

特に排出量の多い発電所(39%)、工場などの産業(25%)、自動車などの運輸関係(18%)の対策が早急に求められています。(商業・サービス・事務所6%、家庭5%、工業プロセス4%、廃棄物3%です)

日本共産党は、2030年までにCO2を60%減らすために再エネ・省エネの新しい産業を創出することで雇用を年に254万人増。GDPを205兆円増できる政策を打ち出しました。

八千代市が削減目標を引き上げ、国に対して積極的に提言し、気候危機を打開するために全力を尽くすことを求めて市議団も頑張ります。